

## 平成30年度学校運営協議会 第1回五條高等学校賀名生分校部会

- 1 期 日 平成30年7月18日(水) 13時30分～15時
- 2 目 的 五條高校運営協議会(コミュニティースクール)の設置に伴う、賀名生分校部会としての地域との連携や在り方や、分校の魅力化についての協議を行う。
- 3 場 所 賀名生分校 校長室
- 4 参加者 (委 員) 國松真也委員【欠席】、柳澤佳孝委員、熊代敬三委員【欠席】  
中井基雄校長  
(事務局) 稲葉 功(分校教頭)、芝野恵一(事務長)【欠席】、  
前田治孝(教務部長)、川西哲志(生徒指導部長)  
(記 録) 岡本由紀(総務部長)



### 5 内 容

#### (1)校長挨拶

今後、分校がより活性化しますように、地域の方々のご協力をお願いしたい。

#### (2)委員委嘱

#### (3)分校の現況について(報告)

(学習状況について)

- ・出席状況の報告。
- ・1年総合実習の報告と課題。

(生徒指導より)

- ・特別指導状況の報告と課題。

#### (4)意見聴取・質疑応答

(質問・事務局)

今年から毎週水曜お世話になっている1年総合実習の様子はいかがですか。

(回答・委員)

想像以上によくやってくれている。言われた仕事をこなそうという姿勢が大変よかった。1年生の間は、学校で基礎になる技術的な面をある程度教えてもらい、私たち農家の現場では、農業の楽しさ、おもしろさ、大事さを感じてもらえればと考えている。

(質問・委員)

農業実習での学校の方針を農家に教えてほしい。どこまで指導していいものか戸惑う。うまく意思疎通がとれていないところがある。

(回答・事務局)

一度、農家との打ち合わせ(交流会)を五條市教育委員会と計画しているところである。

(意見・委員)

挨拶もできない生徒がいたり、中にはここで就職したいといってくれる生徒もいた。パートさんと会話する中で次第に心を開いてくれたり、生徒の扱いは難しいと感じた。挨拶は社会に出ても一番大事なこと。五條高校（本校）を訪問した時の立ち止まっていた挨拶はとても気持ちがよい。

(意見・委員)

今後の実習でどのようなサイクルで生徒が入るのか流れが分かれば指導しやすい。同じ生徒がずっと入れば顔馴染みにもなるし、一度教えたことを教える手間も省ける。自分たちの指導していく課題もたてやすい。

(質問・事務局)

今年度、毎週水曜の実習であるが、次の日に授業に集中できない生徒たちが見られたが、農家側として、曜日のこだわりはあるか。

(回答・委員)

確かに、気をはっているのは伝わる。そういう意味では皆まじめに取り組んでくれている。

曜日についてはウメは金曜には収穫できない。(土曜出荷、日曜販売は不可)しかし、この実習は、人手ではなく、農業指導と理解して受け入れているので(曜日については)農家も分かってくれるでしょう。

(質問・事務局)

農業に興味を持たせるにはどうしたらよいと、お考えですか。

(回答・委員)

理想は、農業に興味を持てなかったのに、農業に目覚め、農業をやり始めること。英語や数学、他教科でも、農業に結びつくことが多い。何のためにその勉強が必要か、実践につながる根本的なことを学校で教えてほしい。

(質問・事務局)

生徒は農業で移住する意識を持っているか。

(回答・委員)

正直もっていないだろう。簡単ではないが、卒業するまでにいかに五條を好きに、いかに農業を好きになってくれるか、それを目標にしてもらえれば嬉しい。農業はこれから参入しやすい。農業のいいところを指導できればと思う。

(質問・事務局)

3年後の卒業後の進路をどう確保するかが課題。今の1年の生徒たちを地元の農業法人で受け入れられるか。また、五條市教委・農林課とのそんな話はあるか。

(回答・委員)

今のところはない。しかし、西吉野は個人法人の比率が多い。農家にとっても、いかに声をあげられるかが課題。

## (5) 校長挨拶

早い時期に、受け入れ農家との打ち合わせ(交流会)を計画したい。また、自分の子どもだったらという気持ちで遠慮されることなくご指導いただきたい。今後ともよろしく願います。

## 6 その他

・今後の予定について

1 2月17日(月) 第2回賀名生分校部会

2 2月27日(水) 第2回学校運営協議会